

■ Ravelli ペレットストーブ 現象確認区分一覧

1、着火不良

1)着火プロセス時、燃料充填量不足

これは、ペレット燃料の長さに起因します。状況は、以下の通り。

- ・燃料長さ： 長 ⇒ 充填量は少なくなり、着火時の失火(燃え尽き)の恐れ有り。
＞充填量を増加します。
- ・燃料長さ： 短 ⇒ 充填量は多くなり、失火の恐れは無いが酸欠によりガラスの曇りに注意。
＞充填量を減量、充填量が適正であれば排気ブロアーの回転数 Up

2)着火プロセス時、給気量不足で失火

これは、設置室内の負圧による影響で発生します。排気方式にも依存します。(FE 式は不利)

- ・一度も炎があがらない場合は、熱風量不足。(または、電源電圧不足。98V 以下は注意)
＞排気ブロアーの回転数 Up により給気量を適正化

3)着火プロセス時、排気不良が原因となり給気量不足で失火

ストーブ本体・灰トラップ(灰溜り)、排気筒の状況を確認。必要に応じて清掃してください。

4)着火プロセス時、炎上がらず

上記2)項の熱風量適性の場合は、電源電圧不足(98V 以下)により点火ヒーターの温度不足
＞冷蔵庫・洗濯機・エアコン・電子レンジ等と同系統のコンセント使用の場合は、変更する。

* 着火不良に関して大まかに区分すると、以下の要因に留まることが大半です。

- ・燃料不足 (燃料の長短に起因)
- ・給気量不足 (大抵は部屋の負圧に影響を受けています、建屋の換気・吸気状況 及び、レンジフードの運転による影響が大きいため、設定変更調整・説明が必要。
また、FE 式排気であれば、給気口の追加を推奨)
- ・上記、両要因によるもの
- ・電源電圧不足

■ Ravelli ペレットストーブ 現象別セットアップ一覧

1、着火不良(以下現象別)

1) 燃料皿への燃料充填量が少なく失火 (燃料燃え尽き(燃え残り無し))

・ペレット燃料の充填量を増加:

「Start, Waiting flame」時の燃料送りステップの Up (+0.2 程度～ 充填量は目視確認)

Lisa plus, RV120 ⇒ TF1

R70 ⇒ Pr34

Lisa (～2010), Monica ⇒ Pr34

***使用ペレットの長さが変化すると、充填量は増減するので、必要以上の増加は注意**

2) 燃料皿への燃料充填量が少なく失火 (燃料燃え尽き(燃え残り有り))

・上記1)に加えて、給気量を増加:

「Waiting flame」時の排気ブロアー回転数の Up (+100～ 増加量は炎を目視確認)

Lisa plus, RV120 ⇒ TF3,10

R70 ⇒ Pr16,17

Lisa (～2010), Monica ⇒ Pr16,17

***回転数を過剰増加すると、着火時に白煙が大量に発生し炭化ガスに引火し小爆発に注意**

***火の連燃焼は、ペレットに硬さにも影響します。硬度の高いペレットの場合は回転数を上げ過ぎると、燃え尽き型の着火不良に注意**

3) 燃料皿の燃料燃え残りありの失火 (燃料燃え尽き(燃え残り有り))

・給気量を増加:

「Waiting flame」時の排気ブロアー回転数の Up (+100～ 増加量は炎を目視確認)

Lisa plus, RV120 ⇒ TF3,10

R70 ⇒ Pr16,17

Lisa (～2010), Monica ⇒ Pr16,17

***回転数を過剰増加すると、着火時に白煙が大量に発生し炭化ガスに引火し小爆発に注意**

***火の連燃焼は、ペレットに硬さにも影響します。硬度の高いペレットの場合は回転数を上げ過ぎると、燃え尽き型の着火不良に注意**

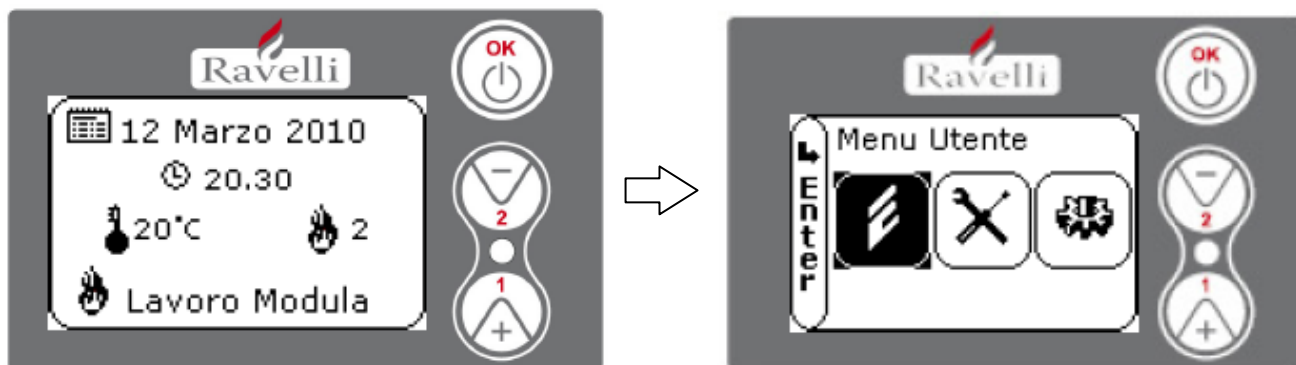
4) 全て適正だが炎上がらず

・電源電圧を確認: 98V 以下の場合は、他系統のコンセントに変更

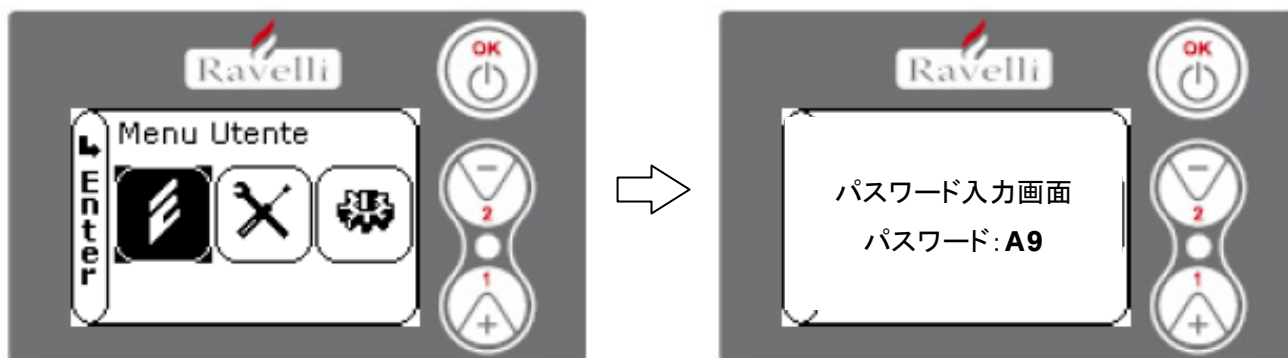
以上

サービスモードの起動手順

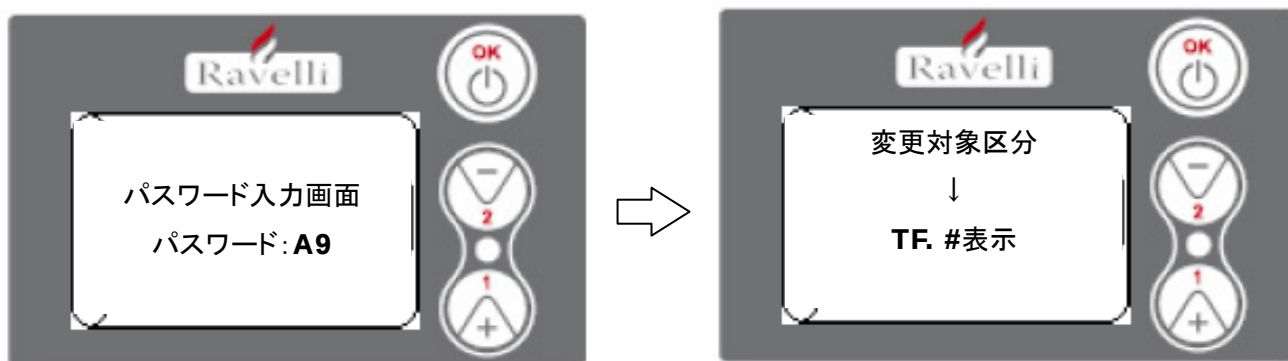
1、下図画面より、OK ボタンを押しメニュー画面に入る（長押しすると電源 On/Off してしまうので注意）



2、メニュー画面からサービスモード「DEFAULT SETTINGS」 を選択し OK ボタンを押す



3、パスワード入力画面が表示されたら、パスワード「A9」を入力（00～99、A1・・・A9）し、OK ボタンを押す



4、設定変更対象区分⇒OK⇒対象 TF #⇒OK⇒ボタン、2・3で変更⇒OK 設定完了